

建築文化週間 2016 第 22 回 構造デザインフォーラム 「大空間スポーツ施設の構造とデザインはいま」

1995 年にスタートした構造デザインフォーラム (Structural Design Forum : SDF) は今年で22年目を迎える。SDFは恒例の建築文化事業の一環に位置づけられており、昨年同様、建築会館・博物館ギャラリーで開催予定の「アーキニリング・デザイン展 2016」(11/12~11/18) との連携を計りながら企画する。今年度の SDF は、「大空間スポーツ施設の構造とデザインはいま」と題して、二部構成で開催する。

第一部は、ロンドンオリンピックのアクアティクスセンターや新国立競技場(当初案)を手掛けたザハ・ハディドのデザインについて、エンジニアの立場から講演していただく。

第二部では、2020 年夏に開催予定のオリンピック施設の計画・技術について紹介していただく。講演後のパネルディスカッションでは、第一回東京オリンピック(1964)の代々木体育館や駒沢体育館まで広く取り上げ、大空間スポーツ施設のえ構造とデザインについて討論する。

主催：日本建築学会関東支部構造専門研究委員会

日時：2016年11月12日(土) 14:00~17:00

会場：日本建築学会会議室(東京都港区芝5-26-20)

プログラム：第一部 ザハ・ハディドのデザインと構造

- ・アクアティクスセンター(ロンドン) 与那嶺仁志(Arup)
- ・新国立競技場(旧) 杉浦盛基(日建設計)

：第二部 東京オリンピック施設の計画と技術

- ・有明アリーナ 花田達矢(久米設計)
- ・アクアティクスセンター 曾根拓也(山下設計)
- ・新国立競技場 水谷太郎(大成建設)

モデレーター：斎藤公男(日本大学名誉教授)

司会：中村伸(構造専門研究委員会設計WG主査、日本設計)

定員：80名(申込先着順)

参加費：学生500円。一般1,000円

申込み [こちら](#)のお申し込みフォームからお申し込みください

問合せ：日本建築学会関東支部

TEL：03-3456-2050 E-mail：kanto@aij.or.jp